

企業組織目標管理シート（重点目標）

問合せ先 事務局 総務係 025-386-9111

年度	平成29年度
組織名	新潟東港地域水道用水供給企業団
組織の目的	水道用水供給事業の適切な運営とともに、効率的で透明性のある経営を推進し、受水団体に対し安全・安心な水の安定供給を継続的に、信頼される水道を目指します。

当初予算（千円）		当初人員（人）		作成日	2017/4/1
【収入】	1,086,486	【正職員】	14	修正日	
【支出】	1,248,967	【その他】	27	評価日	

No.	重点	視点	目 標	指 標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由等	評価	
				項 目	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標					H29結果
1	1	受水 団体	水道ビジョンを果たすための取 組の実践を基本として企業 団施設の維持管理・更新を適切 かつ効果的に実施するととも に、施設の耐震化を推進し、事 故・災害に強い水道を構築す ることにより、安定供給を図り ます。	経年化設備率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	H28=0/113 H29=0/113	・浄水池躯体耐震化工事 実施設計業務委託 ・監視制御装置更新工事等	目標を達成しました。	3
			浄水場施設耐震化率 (%)	7.1	27.3	40.9	40.9	40.9	H28=9/22 H29=9/22				
			調整池施設耐震化率 (%)	11.5	23.1	30.8	30.8	30.8	H28=4/13 H29=4/13				
2	2	受水 団体	水質検査結果の信頼性を確保 するために水道水質検査優良規 範(水道GLP)による検査技能の 向上・安定に努めます。 水質異常対策計画等に基づき トリハロメタン及び農薬等を所 定目標値内に管理します。	・厚労省外部精度管理結 果Zスコア±2以内 (目標達成率:100%)	100.0	67.0	100.0	100.0	100.0	—	・外部研修会等への参加 ・内部研修会開催 ・検査精度向上に係る各種調 査を実施 ・厚労省外部精度管理参加 ・水質異常対策計画等作成 ・トリハロメタン及び農薬等 を所定目標値内に管理	目標を達成しました。	4
			・トリハロメタン、農 薬、臭気強度及びカビ臭 を管理 (目標達成率:100%)	100.0	83.0	100.0	100.0	100.0	—				
3	3	財務	起債借入額を元金償還金の範 囲内に止め、起債残高の増加を 抑制します。 事務事業の見直しと経費削減 などの取り組みを進め、利益の 安定確保につなげます。 施設の更新・耐震化事業に当 たっては、既存の一般会計から の出資債制度を最大限活用す るなどして、財源の確保を図り ます。	給水収益に対する企業債 未償還残高の割合(%)	201.4	198.8	197.5	185.4	183.7	—	長期借入額の縮減	目標を達成しました。	3
				資金不足比率(%)	△ 199.0	△ 208.3	△ 195.4	△ 200.0	△ 200.0	H32年度までの中期 財政計画に基づく	・工事費等コスト縮減 ・出資等既存制度の活用 ・事務事業の見直し、経費削減	目標を達成しました。	3
4	4	人材	水道用水供給事業に必要な知 識や技術の取得・継承を目的 に、外部研修機会の積極的活用 並びに内部研修の充実を図り ます。	外部研修時間（時間）	17.2	21.9	19.8	19.0	9.1	外部研修の積極活用	・若年者の資格取得 等研修への積極参加 ・内部研修の継続	概ね目標を達成しました。	3
				内部研修時間（時間）	9.1	6.2	7.5	8.0	10.9	内部研修の充実			
5	5	業務	放射性汚泥の適切な保管と最 終処分・再利用をすすめます。 水道工事の建設副産物の再利 用に努め、地球環境保全に配慮 した水道事業運営を進めます。 給与会計等システムの安定稼 働に努め、業務時間の短縮を図 ります。	最終処分・再利用量(m3)	2,895	2,030	2,555	3,371	2,446		・放射性汚泥の適正管理と適 切な処理 ・再生材の継続的な使用 ・提供業者によるフォロー アップ と職員の習熟	概ね目標を達成しました。	3
				再生路盤材使用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	再生クラッシャーラン砕 石 RC-40			
				時間外勤務数（時間/年/ 総務係職員）	41.0	63.0	45.0	36.0	75.0	-			

取り組みについて（目標設定・ウェイト付けの考え方など）

- ・水道ビジョンの実践のため、マスタープラン2011（2014見直し版）に基づく設備の更新や施設の耐震化を推進します。
- ・安全な用水供給のための適正な維持管理を引き続き実践します。
- ・安全、安心、安定な水道用水の供給を目的とする水安全計画を着実に実施します。
- ・安定した事業の継続のために、起債未償還残高を圧縮するとともに、利益の確保に努めます。
- ・事業の継続を趣旨として、外部研修への参加及び内部研修等の実施により人材の育成と技術の継承を図ります。

取り組みの結果について（評価を踏まえた課題分析・方向性など）

- ・全体的には今年度の組織目標を達成することができました。
- ・東港地域水道ビジョンを果たすため、マスタープラン2011（2014見直し版）に基づく更新・耐震化は着実に推進しました。
- ・安全、安心、安定供給については施設の適切な維持管理と運転管理を水安全計画を切りどころとし、冬期の異常気象下(寒波・降雪)でも適切に実施しました。
- ・将来の事業安定継続のため、起債残高の圧縮による財源確保と人事評価制度の活用と職員研修により人材の育成を図り、技術継承も推し進めました。